

平成 23 年 2 月 8 日

教育委員会向けキャリア教育支援資料 「キャリア教育の更なる充実のために —期待される教育委員会の役割—」について

このたび、国立教育政策研究所生徒指導研究センターにおいて、教育委員会におけるキャリア教育の更なる充実に資するため、標記の新資料を作成し、全国の教育委員会に配布することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 趣旨

この支援資料は、現在、国において進められているキャリア教育の更なる充実のため、教育委員会を対象として作成したものです。

学校を軸とした「縦」と「横」の連携によって支えられる環境作りやその連携の活性化及び持続させるための教育委員会の役割などを、図や例を用いて分かりやすく解説しています。

2. 主な内容と特長（詳細は別紙参照）

- ・ 求められるキャリア教育の充実
- ・ 中教審が示すキャリア教育の新たな方向性
- ・ 各学校の取組の活性化
- ・ 学年間・学校種間の連携
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 事業所等との連携
- ・ 教育委員会が連携の環境作りを
- ・ 重要資料 URL

3. 教育委員会への配布について

2月中旬に各都道府県・政令指定都市、市区町村教育委員会に配布し、あわせて、国立教育政策研究所のホームページに掲載します。

【研究所ホームページ URL】 <http://www.nier.go.jp/>

（お問合せ）

国立教育政策研究所生徒指導研究センター

総括研究官 藤田晃之 電話：03-6733-6883（直通）

企画課長 大瀬勝寿 電話：03-6733-6879（直通）

企画課指導係 遠藤綾 電話：03-6733-6882（直通）

〔広報担当〕

総務部庶務課係長 宮本二郎 電話：03-6733-6911（直通）

■ キャリア教育の更なる充実に向けて

教育基本法等の改正，教育振興基本計画，中央教育審議会の答申などによる近年の教育改革でも示されるようにキャリア教育の推進が求められています。キャリア教育の更なる充実のためには，学校を軸とした「縦」と「横」の連携によって支えられる環境づくりが必要です。その連携を活性化し，持続させるためには，地域の教育行政を担う都道府県教育委員会・市町村教育委員会による支援とリーダーシップが不可欠となってきます。本支援資料は，そのための手法等を実践例や図を使い効果的に解説していますので有効に御活用ください。

■ パンフレットの構成及び内容について

pp. 2-3 求められるキャリア教育の充実

キャリア教育が求められる社会的背景，キャリア教育の推進を求める国の動きより，キャリア教育を展開するための教育委員会の力の必要性を示す。

pp. 4-5 中教審が示すキャリア教育の新たな方向性

平成23年1月に中央教育審議会が示した答申の内容について，これまでの動向も踏まえわかりやすく解説。最新の定義・育成すべき能力について示す。

pp. 6-7 各学校の取組の活性化

教育委員会が各学校のキャリア教育の現状と課題の把握に努め，それに続く改善方策等について適切な指導・助言を行うポイントを示す

pp. 8-9 学年間・学校種間の連携

教育委員会が，学年間・学校種間の連携・接続を図り一貫した取組を実現させるためのポイントを示す

pp. 10-11 家庭や地域との連携

学校と家庭・地域との連携が，円滑かつ効果的に行われるための教育委員会による積極的な支援について例を挙げて示す

pp. 12-13 事業所等との連携

地域での体験活動の円滑な実施に向けたシステムづくりのための教育委員会の役割をチェックリストや実践事例を用いて示す

pp. 14-15 教育委員会が連携の環境作りを

学校と家庭や地域・社会等の関係機関の連携のための協議会の設置や仕組み作りに向けた環境づくりの手法を組織図を用いて示す

裏表紙 重要資料 URL リスト

キャリア教育への理解を深めるための情報提供（連携先となる他機関，文部科学省及び国立教育政策研究所作成の手引き等の紹介）